

情報交換に係る協力活動

○原子力事業所安全協力協定加盟事業所の訓練見学会

東海ノア協定に基づく「情報交換に係る協力活動」の一環として、協定加盟事業所が実施する訓練の見学会を開催しました。

〔開催日時〕 平成24年11月13日（火）

〔場 所〕 日本原子力研究開発機構 東海研究開発センター
核燃料サイクル工学研究所 構内

平成24年11月13日、核燃料サイクル工学研究所構内において、茨城県立消防学校と核燃料サイクル工学研究所との共催による核燃料輸送事故の対応訓練が実施され、見学会には東海ノア協定加盟事業所から4名（4事業所）が参加されました。

本訓練は、共催者相互の連携強化と緊急時対応力の強化を図ることを目的に毎年開催されており、今回の訓練では、約70名の訓練参加者が初期消火活動、負傷者の救出、輸送物・放射線の情報収集等の訓練に取り組みました。なお、県立消防学校では救助科授業の一環として、救助科の生徒約30名が訓練に取り組みました。

【事故想定・訓練概要】

核燃料物質の積載車が国道を走行中、国道に合流してきた乗用車が積載車に衝突した。この衝突により乗用車から白煙があがり、同乗者2名のうち運転手が脱出できない状況にある。

輸送隊は消防に通報するとともに、初期活動を開始する。

通報を受けた消防隊は現場到着後、放射線等の状況を確認しつつ、消火及び救助活動を実施する。

